

令和3年度 第2回向日市社会教育委員の会議	
日 時	令和3年7月28日(水) 午後2時～同3時30分
場 所	向日市役所別館 第10会議室
出席委員	永井委員、高畑委員、植田委員、中本委員、梅田委員、清水委員、吉岡委員、 實川委員
欠席委員	河村委員、安田委員、横田委員、永田委員
事 務 局	清水教育部長、日下部生涯学習課長
内 容	1 令和3年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について 2 令和3年度京都府社会教育委員連絡協議会総会参加報告について 3 その他事項
教育部長	【開会】 ○開会挨拶
委員	○挨拶
生涯学習課長	○議題1 令和3年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について —社会教育関係団体に対する補助金交付・計画について説明— 社会教育関係団体に対する補助金交付・計画について ・向日市立小・中学校PTA補助金(9団体) ・向日市少年補導委員会補助金(8支部) ・向日市青少年健全育成連絡協議会補助金(23団体) ・物集女青少年健全育成会議補助金 ・向日市子ども会育成連絡協議会(21子ども会) ・公益財団法人向日市スポーツ文化協会補助金 ・向日市少年スポーツ団体補助金 ・ひまわりカップ体操競技大会実行委員会
委員	以上の内容について意見交換を求める。
委員	ひまわりカップ体操競技大会実行委員会の補助金の種類が運営補助金となっているが、対象は体操競技大会そのものであるもので、事業補助金ではないのか。
教育部長	大会の運営経費の一部を補助している。

委員	競技大会は年1回の開催であるのか。
教育部長	年1回である。昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため、開催されていない。
委員	運営・事業補助金とした方が、内容的にわかりやすいのではないか。
教育部長	決算や事業計画を見て考えてまいりたい。
委員	補助金の種類として、運営・事業補助金、運営補助金のみ、事業補助金のみ、の3種類があり、明確な使い分けを教えていただきたい。
生涯学習課長	今すぐにはお答えできないので、書面等で後日お示ししたい。
委員	スポーツ文化協会の事業で、運営補助と事業補助に分かれているが、大まかな内訳を教えていただきたい。
教育部長	いずれも9割は人件費となっている。
委員	向日市立小・中学校PTAの主な補助対象事業で各種研修会への参加とあるが、京都府PTA協議会や乙訓PTA協議会などの上部団体や他団体の研修会に参加するための補助をしているということか。
生涯学習課長	お見込みのとおりである。旅費や研修費用などを補助している。
委員	PTAは昨年度において、予算通りの活動ができなかったと思うが、今年度の補助金の減額はされないのか。また、勝山中学校の生徒会援助費と寺戸中学校の生徒活動費補助がそれぞれ予算として計上されているが、PTA予算としてどう考えたらいいか疑問に思う。 活動については、PTAの活動目的・趣旨として、「子どもたちの健やかな成長を願い、保護者と教師が相互に学習し、」とあるので、学習会や学級懇談会などが主な活動として書かれているべきだと思うが、どのPTAもそういったことが書かれていない。
生涯学習課長	補助金交付申請の額だが、申請される前に生涯学習課と協議を行い決定した。今年度は実績を見て返還を求めることは伝えている。令和2年度については、支出額が補助額を上回っていたことや、活動を止めないという意思があったため交付した。
委員	PTAの活動のあり方として、どのようにお考えか。
生涯学習課長	研修会や学校行事の参加など学習に関することはされており、学校の先生と話しをされたりつながりを持たれているので、全く学習をしていない訳ではないと考えている。

委員	P T Aの活動の柱として、学習が出てこないというのが疑問であるので、生涯学習課として指導があってもいいのではないかと思う。
生涯学習課長	幅広く活動されており、主な事業に書ききれない部分があった。その点をご理解いただきたい。
委員	中学校の生徒会に対する支出はどうか。
委員	勝山中学校は生徒会の行事に係るもの、寺戸中学校は部活動支援や学校行事等に対して補助を検討し、使っていた。
委員	本来学校経費で買うべきものだが、なかなか予算の確保が難しい現実があり、P T Aとしては子どもたちを応援するということで補助しましょうという流れだと思うが、これが当たり前のようにないか。
委員	本来の使い方ではないということを学校側も理解すべきだと改めて思った。
委員	P T A規約はP T A活動の基盤となるものである。その規約に、総会に集まることができなくても、書面決裁的なものができる等の文言が必要ではないかと思うので、その点お願いしたい。
生涯学習課長	承知した。
委員	P T Aの活動は、去年も今年もコロナの関係で思うように事業ができない状態が続いている。P T A会員は毎年変わるので、事業ができない状態が続くとマイナスからのスタートになるのではと思っている。書面ではこういう事業がある、ということが記録として残っていても、事業を実際行うのは、人と人とのつながりが重要であるので、難しくなってきたと思う。委員を決めたとしても集まることができないので、今年は学級委員しか選ばないという学校もある。また、書面決裁については、多くの学校で、クラウドを使ってスマホで見られるようにしているところがある。そうすることで多くの方に見てもらえたというプラスの面もあったと聞いている。先ほどおっしゃっていたお金の使い方については、本来の社会教育団体としての使い方について、改めて考えていく必要があると思った。
委員	スポーツ文化協会に関わってくることだと思うが、学校のクラブ活動の顧問は先生がしないという方向になってきている。指導者確保の仕組みを確立しておけば、学校のクラブ活動に先生の手が回らないといった状況になった時、すぐ対応できるので、そのようにしてほしいと思う。
委員	毎年言っていることだが、スポーツ文化協会の対象事業の99パーセントがスポーツ関係である。ものづくり体験もされているが、何か文化的な面も気配りしていただきたい。

委員	<p>研修会等で、芸術や文化が人の心をいかに豊かにし、良い社会を作っているかを学んだ。スポーツ文化協会にはそのような役割を持つことを期待している。一つのアイデアとして、継続的に実施できる音楽や絵画などの教室を、人材育成を兼ねて実施されることを願っている。</p>
教育部長	<p>詳しい内容はまだお伝えできないが、スポーツ文化協会は、令和3年度から文化的事業として、新しい事業の実施を予定している。</p>
委員	<p>現在、文化系の団体は0であるのか。</p>
教育部長	<p>詳しい内容の資料を持ち合わせていないため、後日お伝えさせていただく。</p>
委員	<p>例えば手品協会などの団体を通じて、子どもに手品の楽しさを伝えられると思う。文化的な団体を確保・育成し、その団体をうまく組織化していくことで、地域のスポーツ・文化振興に貢献できるのではないかと思う。行政として団体を育て、確保してもらいたい。</p>
教育部長	<p>そのように取り組んでまいりたい。</p> <p>○議題2 令和3年度京都府会教育委員連絡協議会総会参加報告について</p> <p style="text-align: center;">—参加した感想・意見の交流—</p> <p>○その他事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会参加について ・令和3年度近畿地区社会教育研究大会 大阪大会について ・第3回会議内容及び日程調整について <p>【閉会】</p>